

警 察 本 部

令和 8 年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

令和 8 年中の県警察の運営重点は

- ① 子ども・女性等を守る取組と犯罪対策の推進
- ② 地域住民の安心感を高める街頭警察活動の推進
- ③ 犯罪の早期検挙に向けた総合力による捜査の推進
- ④ 総合的な交通事故抑止対策の推進
- ⑤ テロの未然防止と大規模災害等緊急事態対策の推進
- ⑥ サイバー空間における脅威に対処するための取組の推進
- ⑦ 犯罪被害者等支援の推進

とし、これらに必要な予算を調製しました。

2 主な重点項目

【警察本部 222-0110】

(1) みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

① (一部新) 特殊詐欺被害防止対策事業 28,498 千円

[生活安全企画課]

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止を図るため、ターゲティング広告や演劇に加え、可搬式のデジタルサイネージを整備するなど、訴求力のある注意喚起を実施します。

② 県民が安心して歩ける防犯まちづくり事業 33,866 千円

[生活安全企画課]

犯罪の防止、事件事故の早期解決及び県民の安心感の醸成を図るため、街頭防犯カメラの更新整備を進めます。

(2) 犯罪の早期検挙のための活動強化

① (一部新) 情報技術解析推進事業 29,483 千円

[サイバー犯罪対策課]

情報通信技術に係る解析環境を一層高度化するため、電磁的記録の解析を効率的に行うことができる処理能力の高い機材を追加整備するほか、暗号資産取引追跡支援ツールを導入します。

② (新) 組織犯罪対策事業 (特殊詐欺現場における検挙力強化) 10,181 千円

[組織犯罪対策課]

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺を検挙するため、だまされた振り作戦をはじめとする現場設定型捜査に必要な装備資機材を整備します。

(3) 警察活動を支える基盤の強化

① 警察署庁舎整備事業 255,026 千円

[会計課]

伊賀警察署の建替整備に向け、令和 7 年度に引き続き設計業務を進めます。

②庁舎等施設整備事業（科学捜査研究所整備事業） 1, 562, 775千円

[会計課・科学捜査研究所]

令和7年度に引き続き、科学捜査研究所棟の建築工事を進めるとともに、移転作業を行います。

③交番・駐在所整備事業 255, 396千円

[会計課・地域課]

老朽化した交番・駐在所の建替整備、長寿命化に取り組みます。

④（新）部内通訳人養成事業 5, 919千円

[刑事企画課]

警察活動における通訳・翻訳の運用機会が増加していることに対応するため、部内通訳人を養成し、通訳体制の強化に取り組みます。

（４）災害対応力の充実・強化

（一部新）災害警備対策事業 65, 469千円

[会計課・警備第二課]

大規模災害発生時における警察機能の維持及び災害対処能力の強化を図るため、交番・駐在所にポータブル電源を整備するほか、災害警備活動服、電動チェーンソー及びレスキューツールセットの整備を行います。

（５）交通安全対策の推進

①（新）外国人運転者に対する交通安全教育事業 5, 071千円

[交通企画課]

外国語による交通安全啓発動画及びリーフレットを作成し、交通安全教育や広報啓発の場で活用することにより、外国人が当事者となる交通事故の防止を図ります。

②（新）子どもを守る疑似体験交通安全教育事業 5, 344千円

[交通企画課]

中学生・高校生を対象として、通常、体験が困難である交通事故をVRにおいて疑似体験させることで、自らの交通事故防止に向けた危険予測能力を高めるとともに、基本的な交通ルールの習得を図ります。

③（一部新）自転車事故防止を図るためSNS等を活用した広報啓発事業

3, 256千円

[交通企画課]

中学生・高校生を対象とした自転車事故防止に関する動画をSNS等により広報啓発することで、子どもの交通事故防止を図ります。

④交通安全施設整備事業 3, 019, 451千円

[交通規制課]

令和10年3月で生産終了となる信号灯器用電球（白熱球）のLED化を計画的に進めます。また、中長期的な計画に基づき、信号制御機、信号柱などの交通安全施設等の適正な維持管理を行います。

3 その他の主要事業

【警察本部 222-0110】

政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>《政策名：防災・減災、県土の強靱化》 〈施策名：（1-1）災害対応力の充実・強化〉</p> <p>1 ヘリコプター運用・維持事業 756,742千円 【(1-1-1) 県の災害即応体制の充実・強化】 (第9款 警察費 第1項 警察管理費 3 装備費) 警察用航空機「すずか」が令和8年度に法定点検を迎えるため、必要な整備を行います。また、ヘリコプターテレビシステム地上設備の継続的かつ安定運用を確保するため、設備の更新工事を実施します。</p> <p>《政策名：暮らしの安全》 〈施策名：（3-1）犯罪に強いまちづくり〉</p> <p>1 テロ等対策事業 4,643千円 【(3-1-1) みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進】 (第9款 警察費 第2項 警察活動費 2 刑事警察費) テロ等重大事案の未然防止を図るため、必要な警備諸対策を推進します。</p> <p>2 被害者支援推進事業 10,463千円 【(3-1-4) 犯罪被害者等支援の充実】 (第9款 警察費 第1項 警察管理費 2 警察本部費) 犯罪被害者等に対して、警察本部に配置したカウンセラーによる精神的回復への支援をさらに推進するとともに、犯罪被害者支援制度を効果的に運用して、経済的負担の軽減などに取り組みます。</p>	<p>警備第二課</p> <p>警備企画課 警備第一課 警備第二課</p> <p>警務課</p>

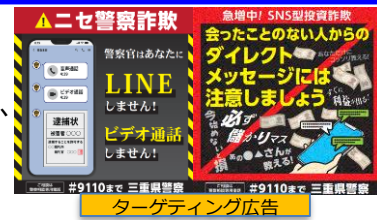
犯罪に強いまちづくり

みんなで進める犯罪防止に向けた取組の推進

犯罪防止に向けた取組

(一部新)特殊詐欺被害防止対策事業(28,498千円)

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止を図るため、ターゲティング広告や演劇に加え、可搬式のデジタルサイネージを整備するなど、訴求力のある注意喚起を実施します。



県民が安心して歩ける防犯まちづくり事業(33,866千円)

犯罪の防止、事件事故の早期解決及び県民の安心感の醸成を図るため、街頭防犯カメラの更新整備を進めます。



犯罪の早期検挙のための活動強化

検挙力の強化

(一部新)情報技術解析推進事業(29,483千円)

情報通信技術に係る解析環境を一層高度化するため、電磁的記録の解析を効率的に行うことができる処理能力の高い機材を追加整備するほか、暗号資産取引追跡支援ツールを導入します。



電磁的記録の解析

(新)組織犯罪対策事業(特殊詐欺現場における検挙力強化)(10,181千円)

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺を検挙するため、だまされた振り作戦をはじめとする現場設定型捜査に必要な装備資機材を整備します。



現場設定型捜査の強化

警察活動を支える基盤の強化

警察施設の整備

- 警察署庁舎整備事業(255,026千円)
伊賀警察署の建替整備(R6~R11)
- 科学捜査研究所整備事業(1,562,775千円)
科学捜査研究所棟の整備(R3~R8)
- 交番・駐在所整備事業(255,396千円)
交番・駐在所の建替整備、長寿命化



科学捜査研究所 完成イメージ
(令和8年度完成予定)



鳥羽警察署 鳥羽駅前交番
(令和7年12月完成)

通訳体制の強化

(新)部内通訳人養成事業(5,919千円)

警察活動における通訳・翻訳の運用機会が増加していることに対応するため、部内通訳人を養成し、通訳体制の強化に取り組みます。



外国人に対する通訳

災害対応力の充実・強化

県の災害即応体制の充実・強化

(一部新)災害警備対策事業 (65,469千円)

大規模災害発生時における警察機能の維持及び災害対処能力の強化を図るため、交番・駐在所にポータブル電源を整備するほか、災害警備活動服、電動チェーンソー及びレスキューツールセットの整備を行います。



交通安全対策の推進

交通安全意識と交通マナーの向上に向けた教育・啓発の推進

(新)外国人運転者に対する交通安全教育事業 (5,071千円)

外国語による交通安全啓発動画及びリーフレットを作成し、交通安全教育や広報啓発の場で活用することにより、外国人が当事者となる交通事故の防止を図ります。



(新)子どもを守る疑似体験交通安全教育事業 (5,344千円)

中学生・高校生を対象として、通常、体験が困難である交通事故をVRにおいて疑似体験させることで、自らの交通事故防止に向けた危険予測能力を高めるとともに、基本的な交通ルールの習得を図ります。



(一部新)自転車事故防止を図るためSNS等を活用した広報啓発事業 (3,256千円)

中学生・高校生を対象とした自転車事故防止に関する動画をSNS等により広報啓発することで、子どもの交通事故防止を図ります。



安全かつ快適な交通環境の整備

交通安全施設整備事業 (3,019,451千円)

令和10年3月で生産終了となる信号灯器用電球(白熱球)のLED化を計画的に進めます。また、中長期的な計画に基づき、信号制御機、信号柱などの交通安全施設等の適正な維持管理を行います。

